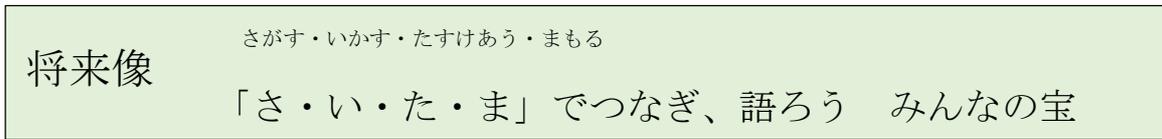
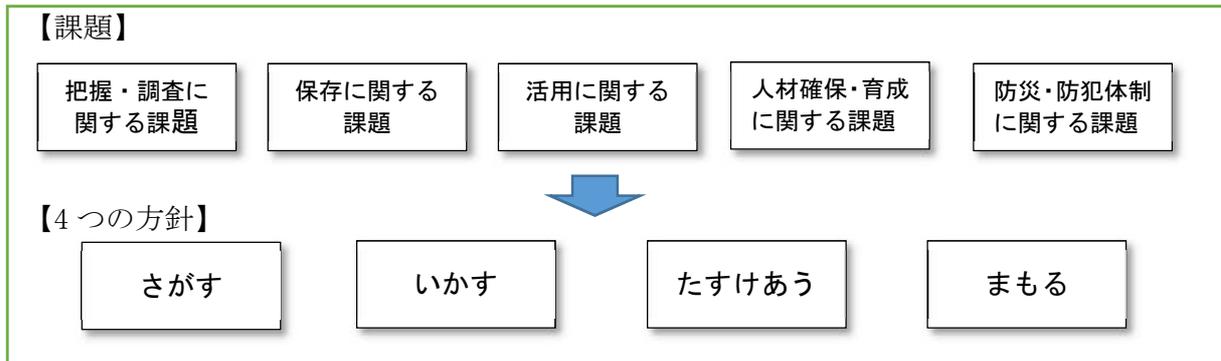


2 協議事項

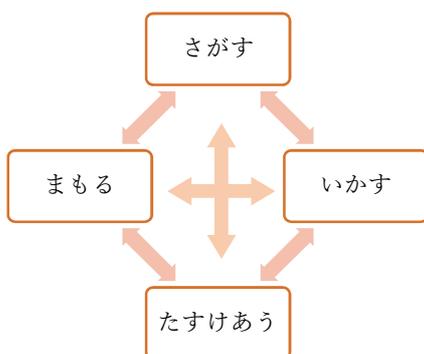
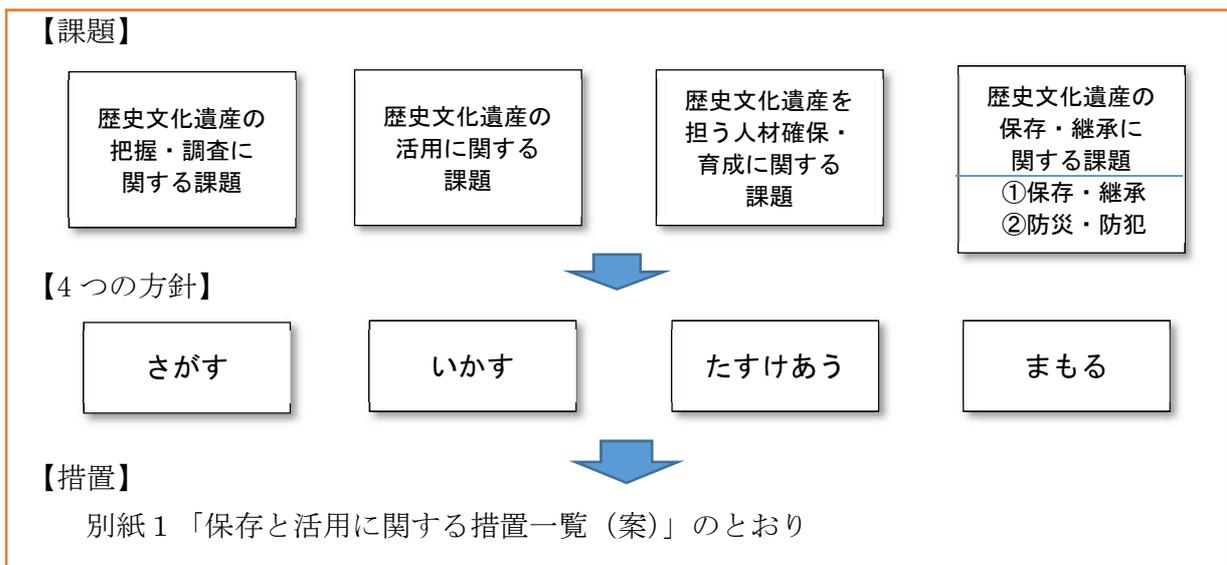
(1) 歴史文化遺産の保存・活用等に関する措置について



令和4年度第2回資料より



↓ 見直し、整理



得られる効果



- ・歴史文化遺産の保存・継承
- ・さいたまの魅力発見
- ・さいたまの魅力発信
- ・コミュニティの醸成
- ・地域振興
- ・観光振興
- ・教育支援

(2) 保存活用区域での措置について

ア 概要、歴史文化の特徴

区域	概要	歴史文化の特徴
大宮	古代より見沼のほとりに鎮座する氷川神社を中心に発達した区域である。近世には、中山道の大宮宿が整備され、近代以降は「鉄道のまち」「商業のまち」として発展を遂げた。また、県内最古の県営公園である「大宮公園」には文豪が訪れ、料亭文化が生まれたり、サッカー場、県立博物館の施設が建設されている。関東大震災後には「大宮盆栽村」が誕生するなど交通・交易・文化発信の拠点でもある。	大宮台地と水が織りなす歴史文化 3万年前から始まる歴史文化 江戸を支えた歴史文化 県都さいたまの歴史文化 道がはぐくむ歴史文化 祈りと祭の歴史文化
与野	鴻沼低地と荒川低地に挟まれた大宮台地の与野支台に位置する。古代より、人々が住み始め、中世には鎌倉街道が与野支台を南北に通じ、「市」が開設された。中世の中心は鈴谷地区であったが、江戸時代には、本町が新しく作られ、甲州街道と奥州街道を結ぶ脇往還の宿駅として栄え、道の左右に前庭を持つ蔵造りの住宅が本町通りの町並みの特徴である。 現在は、新大宮バイパスやJR埼京線が通り、与野本町駅の西側に「彩の国さいたま芸術劇場」が設けられ、「芸術、文化創造発信の地」となっている。	大宮台地と水が織りなす歴史文化 3万年前から始まる歴史文化 動乱の世に生まれた歴史文化 江戸を支えた歴史文化 道がはぐくむ歴史文化 祈りと祭の歴史文化
浦和	中山道浦和宿を形成した上(常盤)・中(仲町)・下(高砂)町及び岸町を中心とした区域である。 仲町の玉蔵院を中心に「まち」がひろがり、中山道の整備に伴い宿場町として繁栄した。近代に入ると、県庁が鹿島台に置かれ、裁判所などの行政機関、師範学校、医学校、浦和駅などが設けられ、県都(行政の中心地)として発展し、現在に至る。また、師範学校の教師をはじめ、関東大震災後に移り住んだ文化人の中には画家も多く「浦和画家」と称された。	(大宮台地と水が織りなす歴史文化) (動乱の世に生まれた歴史文化) 江戸を支えた歴史文化 県都さいたまの歴史文化 道がはぐくむ歴史文化 祈りと祭の歴史文化
岩槻	利根川(現・古利根川)、荒川(現・元荒川)などの大河が流れ、また東北地方に通じる主要な街道が通るなど水陸交通の要衝である。このため、岩槻は軍事上の拠点として時の有力武将から重視され、城が築かれるに至った。 江戸時代に日光東照宮が造営され日光社参が始まると、日光御成道が整備され、城下町として、また宿場町として、武蔵国東部の中心地として栄えた。明治に入	大宮台地と水が織りなす歴史文化 3万年前から始まる歴史文化 動乱の世に生まれた歴史文化 江戸を支えた歴史文化 道がはぐくむ歴史文化 祈りと祭の歴史文化

	り、南埼玉郡役所が置かれるなど、埼玉県東部の政治・経済の中心地であり続けた。現在は、「城下町・人形のまち」としてのまちづくりが進められている。	
見沼	通称「見沼たんぼ」と呼ばれる約 1260ha という広大な緑地空間と、その周囲の台地を含めた地域である。低地と台地が織りなす空間は、旧石器時代から人々が住み始め、海、沼、溜井、水田の時代を経て現在に至る。周辺の台地には、氷川神社や氷川女體神社などの神社が数多くあり、また、竜の伝説も多く残る。斜面林や桜回廊、食糧や植木生産など、見沼と共に歩んだ歴史文化遺産が数多く残る。	大宮台地と水が織りなす歴史文化 3 万年前から始まる歴史文化 (動乱の世に生まれた歴史文化) 江戸を支えた歴史文化 道がはぐくむ歴史文化 祈りと祭の歴史文化

イ 課題、方針、措置

別紙2 「保存活用区域での保存と活用に関する措置一覧(案)」のとおり

(3) 関連文化財群での措置について

ア 概要、主な構成文化財

概要	主な構成文化財
<p>縄文ウオータフロント</p> <p>さいたま市の遺跡の特徴として、「縄文時代」の遺跡が数多くあることがあげられる。当時のさいたま市域は、海面上昇により、海に面した土地であった。真福寺貝塚をはじめ、台地上に多くの貝塚が残る。それらに焦点をあて、一つのテーマとして設定する。</p>	<p>真福寺貝塚（岩槻区） 馬場小室山遺跡（緑区） 南鴻沼遺跡（中央区） 五味貝戸貝塚（西区） 大谷場貝塚（南区） 貝崎貝塚（見沼区）</p>
<p>川の恵みと闘い</p> <p>荒川、元荒川を中心に、川によってもたらされた恵みと、洪水、河川改修などの川との闘いという、相反する歴史文化遺産を一体化し、テーマとして設定する。</p>	<p>田島ヶ原サクラソウ自生地（桜区） 錦乃原桜草園（西区） 荒川流域のハンノキ（桜区） 元荒川のキタミソウ（岩槻区） 河岸場跡（西区、桜区、岩槻区） 古墳群、板石塔婆 藤橋の六部堂（西区） 斎藤治水翁彰功碑（西区） 備前堀（西区） 千貫樋水門（桜区） 須賀堰（岩槻区）</p>
<p>さいたま五町と街道</p> <p>市域には、中山道、日光御成道、鎌倉街道があり、それらに伴う宿場や市がある。人々の往来と宿場を中心にその足跡をテーマとして設定した。また、市域を横断する赤山道についても取り上げる。</p>	<p>中山道 日光御成道 鎌倉道と脇往還 赤山道 浦和宿、大宮宿、大門宿、岩槻宿、与野町</p>
<p>彩り豊か「さいたまのまつり」</p> <p>市内の各地域に残る祭りや伝統行事のうち、ムラ単位で行われている伝統芸能・伝統行事を一つのテーマとして設定する。</p>	<p>岩槻の古式土俵入り 獅子舞（田島・秋葉・深作・南部領辻） 餅つき踊り（日進・指扇） 円阿弥の万作踊り 各地の祭囃子</p>

イ 課題、方針、措置

別紙3 「関連文化財群での保存と活用に関する措置一覧（案）のとおり